

# Food 風土・「横浜野菜」

## 横浜農業の実力を発揮する軟弱野菜

小松菜は市町村別の生産量で全国一の生産量をほこります。この他ほうれん草、カブ、ミズナ、春菊などいろいろな軟弱野菜が各地で生産されています。都筑区の小松菜、ほうれん草、鶴見区の春菊は伝統的な地域特産野菜です。



横浜は地場野菜の宝庫です。各地で多品目の野菜が生産されています。ここに掲げた野菜はJA横浜が取り扱う主要産地と品目です。

## 横浜野菜の雄「横浜キャベツ」

キャベツは横浜のナンバーワン野菜です。神奈川区を筆頭に、都筑、港北、旭、泉、戸塚、瀬谷の各区が主産地となり「横浜キャベツ」として全国有数のキャベツ産地を形成しています。



## 身近に豊富な生産品目

横浜野菜の特徴は生産品目が多いことです。季節に応じ多種多様の野菜が生産されています。ダイコン、ブロッコリー、レタス、キュウリ、ニンジン、パレイシヨなどの代表的な野菜をはじめ、エダマメ、インゲンなどの豆類が主要な生産品目です。その他にも、決して生産量は多くありませんが、年間でも50品目以上の野菜が生産され、身近な産地の魅力を食卓におとどけています。



## 魅力の朝採り野菜

朝採りの魅力はなんといってもトウモロコシ。これに加え、レタス、ナス、キュウリや、ブロッコリー、キャベツなどで、横浜の立地を活かした朝採りに取り組んでいます。



## 近代施設農業のさきがけとして

横浜は近代的な施設園芸が盛んです。泉区、戸塚区などをはじめ各地で生産されている熟度の高いトマトは横浜野菜の魅力の一品です。



## がんばる地域特産野菜

瀬谷のウド、港北高田のカリフラワー、飯田の葉付大根など、伝統的な地域特産野菜も多くあります。正月のおなじみは神奈川区の七草。「七草セット」は横浜が発祥です。



JA 横浜

● JA 横浜野菜販売促進協議会